

授業と評価の年間計画

教科	地理歴史	科目	日本史B	
履修条件 対象生徒	選択 普通科・理数科 2年			
学習目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界史と関連付けて総合的に考察し、わが国の伝統と文化の特色についての理解を深めることにより歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業】 教科書（山川出版社）と授業プリントを核に授業を展開する。単に歴史用語を暗記するのではなく、歴史の流れの把握や歴史的意義の理解が重要である。</p> <p>【家庭】 教科書の授業範囲にしっかり目を通すこと。授業中によくわからなかった事項については図説・用語集などで確認し、理解する。</p> <p>【補習・その他】 補習は授業を進める。博物館や美術館を訪れ、史料にふれることも重要である。</p>			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1)中間検査まで ア 日本文化のあけぼの (2)期末検査まで ア 律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農耕社会の発達と人々の生活の変化を考察し、理解する。</li> <li>・古墳や副葬品を学び、ヤマト政権の成立とその特徴を理解する。</li> <li>・乙巳の変を中心として、7世紀の政治情勢を理解する。</li> </ul>		
	2 2学期 (1)中間検査まで ア 律令国家の形成 イ 貴族政治と国風文化 (2)期末検査まで ア 中世社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・律令制の確立と、政界の対立を理解する。</li> <li>・天平文化の特色を理解する。</li> <li>・平安遷都以降の政治・文化を理解する。</li> <li>・院政と、平氏政権について理解する。</li> <li>・公武二重支配の構造について理解する。</li> <li>・元による二度の襲来と、幕府政治への影響を理解する。</li> <li>・新仏教を中心に、文化について理解する。</li> </ul>		
	3 3学期 (1)学年末検査まで ア 武家社会の成長 イ 幕藩体制の確立 ウ 近世・近現代総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室町幕府成立の過程について理解する。</li> <li>・室町期の文化の特色を理解する。</li> <li>・幕府の衰退と戦国大名の分国統治について理解する。</li> <li>・織田信長と豊臣秀吉の統一事業について理解する。</li> <li>・幕藩体制について考察し、理解する。</li> </ul>		
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期検査や課題テストなどの成績を重視するが、授業における課題等の提出状況や出欠状況、授業態度も含め、総合的に判断して評価する。			
その他	史料（資料）を用いた学習、主題を設定し追究する学習を実施する。実施時期については授業で指示する。また、文型に関しては適宜演習の時間を設け、大学入試に対応できる学力の育成を促す。 センター試験では、単に歴史用語を暗記するだけではその対応は不十分であり、歴史の流れや歴史上の意義を理解していなければならない。そのため、図説の写真や地図、教科書の脚注や史料にも注意を払わなければならない。			